

事務事業 No./名称	□サービス部門 消防-01 消防運営事業 ■支援部門				ザイムスコード及び個別事業名		
	主管課	消防総務課		関連課		217	消防運営事業
分野名	地域安全				220	消防福利厚生事業	
目標 (目標値)	消防職員の資質の向上を図るため、研修訓練を充実させる						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	56,574千円	59,779千円		指標と評価		
	(国・県)				指標	職員資質の向上	
	(負担金等)				評価	○	
	(一般財源)	56,574千円	59,779千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	3.5人	3.5人		目標値	実績値	
	人件費	32,515千円	32,869千円		20年度	△	△
	協働の パートナー				21年度	△	△
事務事業 運営経費	総事業費	89,089千円	92,648千円		22年度	○	
	市民1人当 りの経費	504円	525円		23年度	○	
	対象者1人 当りの経費				最終年度 (年度)	○	
ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・警備人員の関係上、研修への派遣が制限される					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・限られた人員配置ではあるが、人員補充などを行い、可能な限り研修に派遣することができた					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・配置人員の関係上、研修への派遣が満足できる結果ではなかった					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・限られた人員配置ではあるが、今後、内部努力などすることにより職員を研修へ派遣する					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性		
A	無	出来る限り研修受講体制は、 今後も継続して行く		A	無	消防力の総合的強化を図る目的 で、 職員研修の充実を図る	
課長名		堀 英彦		部名・部長名		消防本部 畑 光則	